



# とつか 2019年3月会報 第293号

国際会長(IP) Moon Sang Bong (韓国)

2018 主 題 “Yes, we can change” 「私たちは変えられる」

スローガン “Courage to challenges” 「挑戦への勇氣」

アジア太平洋地域会長(AP) 田中 博之 (東日本区)

主 題 “Action” 「アクション」

～ スローガン “With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」

東日本区理事 (RD) 宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)

主 題 「為せば、成る」 “No challenge, No fruit.”

2019 スローガン 「ワイズが何をしてくれるかではなく、あなたがワイズに対して何が出来るかを考えて実行しよう」

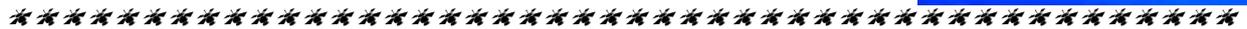
湘南・沖縄部部長 佐藤 節子 (厚木)

主 題 「心を元気に きずなを深めあえるワイズをめざそう！」

クラブ会長 浦出 昭吉 「今こそ会員増強目指して初心に帰ろう」

主 題 副会長 吉原 訓 書記 加藤 利榮 会計 鈴木 ひろ子

メネット事業 吉原 和子 担当主事 瀬戸 俊孝



## 会員ひと言

加藤 利榮

～掛詞(かけことば)の面白み～

いつの頃からか、「掛けことば」に関心をもつようになり、とくに、ここ10年ほど、週のうちの2日間は仕事の関係で戸塚から茅ヶ崎まで出掛けることから、片道20分、このことに専念？するようになりました(アタマの老化防止にも?)。

「掛詞」は、いわゆる「だじゃれ」と似ていますが、私は根本的に違うと思っています。「だじゃれ」の方は、「必ず文中に同じオンが出る。」例えば、「布団が風でふっ飛んだ」「アルミ缶の上にあるみかん」「電話に誰も出んわ」など…といったたぐいのコトバ、わりと単純です。一方、「掛詞」の方は、聞く人に面白みと可しみ、それと「なるほどね…」などといったたぐいの得心とちょっとした「いやし」を味わうこともできるのではないかと…と思っています。以下に2つ3つ…。

「カジノ」と掛けて「水たまり」と、その心は「避けて通るのが無難」「新入社員」>「人工衛星の打上げ」>「間もなく軌道に乗ります」「選挙」>「体力テスト」>「日ごろの運動がモノ言う」といった具合です。これを、ワイズに当てはめて、「EMC」>「ソバ打ち初体験」>「思うように伸びません」皆さんも、お時間がありましたら一ついかが…。

## ◎今月の聖句◎

求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。

—マタイによる福音書7章7節—

誰でも、してもらいたいと思うことは、ヒトもまたしてほしいと、願っています。ですから、あなたもちょうちよなく、その人にしてあげてください…と。

人それぞれ考えていることは違っても、心の中は同じ気持ちでいるものです。この基本を置き去りにすることなく、毎日の生活を送りたいものですね…。

主のみことばが、今もって教えてくれています。



Brotherhood Fund (兄弟愛基金) のことで、BF 代表や役員の公式行事の旅費に充てられます。以前は、使用済み切手を換金したが切手市場の停滞に伴い、昨今は現金による拠出が大勢を占める。一方、Menettes は、Y's Menettes の略で、男性会員のパートナー、ワイズ活動を支援するための組織ではあるが、独自に取り組む傾向にある。東日本区ワイズメネット委員会規則がある。

3月在籍者数			3月出席者数			出席率	ファン	B	F	B	F	CS・TOP・	B A P Y	ロ	バ
メ	ン		メ	ン			他	(円)		(g)		A S F	(円)		(円)
メ	ン	12	メ	ン	11	94%									
			メ	ネット	2				0	0	0	0	0	8,150	
				ゲスト	0				0	0	0	0	0	0	
計		20	合	計	13				0	0	0	0	0	8,150	

★強い義務感を持つよう 義務はすべての権利に伴う★

## ☆第1例会報告☆

浦出 昭吉

日時：2019年2月2日(土) 18:30~20:30

会場：湘南とつかYMCA 1階ホール

参加者：(ゲスト) 舞岡地区センター加藤和男施設長

服部雄貴 ウエルネス・スタッフ

(ビジター) 千葉裕子会長・田中義宣さん(鎌倉)

(メン) 岡・加藤・佐藤・瀬戸・若木・浦出

(メネット) 加藤・吉原・若木 計 13名

2月期第1例会はTOFの強調月間ながら、加藤メネットからの差入れも有って、十分に満ち足りたお食事タイムとなり、また、その分、席上ロバさんが回され、まずまずの好結果、コグニサイズは服部主任肝いりのご指導と相まってのひと時、そのまま記念撮影に収まり、そして本日のメインプログラムの卓話へと進められ、「舞岡地区センターの現状等について」のテーマで、PC併用の講話に一同聞き入りました。

平成10年にオープンし、6年後にYMCAが指定管理者となって今日に及んでいるが、センター活動から、今や地域の拠点を目指す施設へと移りつつあり、1年を通して利用者の伸びに期待をし、いわゆる‘見つかる’‘つながる’‘よくなっていく’YMCAの理念を柱に、絶えず前向きな活動を心掛けている。センターとして、時にはイベントなど開催し、現在の年間利用者数7万人台を一躍倍増の14万人台としたい。この春3月の10日(日)には‘さんま祭り’イベント開催を考えており、ご都合のつく方はぜひお越し願いたい。当日、地元商店会とタイアップした地域性豊かなお店やイベントが開かれる予定にある、等々熱意のこもったお話を頂き、また2、3の質疑も交わされ、拍手のうちに終わりました。➡

施設長の加藤さんは踊場地区センターが前任地だったこともあり、その豊かなご経験・実績を活かし、時節柄、是非マイオカの方もよろしくね…というのが当夜の雰囲気でした。

引き続きビジネスに移り、報告・連絡事項としては、Y-Y's 合同新年会が1/12・中華街、第2例会が1/22・とつかY、また日程の確認では、会員大会(2/11)、EMCシンポジウム(2/16)、部長沖縄公式訪問(2/16~17)、ワイズ幼児サッカー(2/17)、第2例会(2/19)、ピンクシャツデー(2/27)、復興支援コンサート(3/10)、踊場感謝会(3/11)、つるみクラブ(仮)設立総会(3/17)、3月第2例会(3/19)、竹の子例会(4/16)等々の予定発表と確認がありました。ご参加出来る行事・イベントに是非出席されるよう心掛けましょう。

今月のハッピーバースディは、大高館長・加藤書記・瀬戸担当主事、それに吉原和子メネットと、大変賑やかな顔ぶれ、記念品の贈呈・全員でハッピーバースディを歌い、お祝いしました。

定刻に閉会点鐘、場所を変え、鎌倉のお客様をお誘いし例会パートIIを開催し、交流を深めました。



## ☆ワイズの法人化に向けて☆

加藤 利榮

2回目となる「法人化問題再検討小委員会(仮)」が2月21日(木)16:00~、関内中央YMCA606号室に辻委員長の招集により、宮内区理事、板村次々期理事、若木さん(とつか)、齋藤さん(横浜)、それに私もお仲間に加わり、開かれました。

今から25年ほど前の1994年に「法人設置委員会」の名称で篠田桂司さん(大阪長野クラブ)を委員長に4名の委員で構成、中には私のほか寺門文雄さん(世田谷)や山田田利三郎さん(東京西)も委員の一人に加わっておりましたが、委員長が病で退会されたこともあり、1年余りで中断したままになっています(「ワイズ運動70年史」より)。

2022年には国際ワイズ100年の節目を迎えます。と同時に、ワイズの‘高齢化と目減り’も否めぬ現実です。また昔のお話で恐縮ですが、今から40年ほど前に、BF代表として訪れた北米大陸の10ほどのクラブ~この中には横浜クラブとIBCの関係にあった3つのクラブを含む~のうち、現在残っているクラブは一つもありません。今や、こうした現状を‘対岸の火事’と見過ごすわけには参りません。加えて、私たちのクラブは、法的能力や対外的認知度はゼロに近い、これでは、先行きどうなるかは火を見るよりも明らかです。法人化がベストウェイとは決して申しませんが、ここらで何とかしなければ…といった焦燥感に似たものが去来するの事実です。‘為せば、成る!’、皆さんからのお知恵を…。

## ☆第2例会報告☆

浦出 昭吉

日時：2019年2月19日(火) 18:30~20:00

会場：湘南とつかYMCA205号室

出席者：(ビジター) 三上淳鎌倉クラブ担当主事

(メン) 岡・加藤・佐藤・瀬戸・土方・若木・浦出

(メネット) 加藤・吉原 計 10名

### ◇ 報告事項

- ①2/2(土) 第1例会(別掲)
- ②2/8(金) つるみクラブ設立に向けて
- ③2/11(月) 横浜YMCA会員大会(別掲)
- ④2/18(土) 4部合同EMCシンポジウム
- ⑤YMCA関係 幼児サッカー大会開催される。(別掲)

### ◇ 協議

- ①3月期第1例会(3/2):卓話者アンジュ施設長相馬良文氏
- ②次期会長等研修会:浦出次期会長出席予定
- ③大震災復興コンサート:チケットはクラブで一括購入済み
- ④踊場地区センター感謝会(3/11・10:00~)
- ⑤つるみクラブ設立総会:3/17・14:00~)
- ⑥YMCA関係 ア 幼児サッカービデオ紹介:瀬戸担当主事  
イ 三上主事よりお礼の挨拶あり。

—以上—

## 【特別寄稿】

### ☆東日本大震災に思う☆ 大江 浩



今年3月11日、「3.11」の8回目の記念日を迎えます。奇しくも、「3.11」の1か月前の2011年2月11日、私は横浜YMCA 会員大会(主管: 会員事業委員会/加藤利榮委員長)で、私自身の阪神・淡路大震災やトルコ地震など国内外での災害支援の経験をお話しする機会を与えていただきました。不思議な巡り合わせでした。

私は、その時、「YMCAと災害支援」をテーマに、ボランティアの働き、震災を契機に顕在化した地域社会の現実(例: 日ごろから困難を抱えて生活しておられる高齢者・障がい者、定住難民の方々が直面した課題)や共に生きることの困難さ等を具体例を交えてお話ししました。また併せて、YMCAとワイズとのネットワークやパートナーシップ、日常と非日常を繋げて活動していくことの大切さ、トルコの被災地での子どもボランティアの事例、「災害が起こった時にどう対処するか」でなく「災害が起こらない平和な世界を地域に根付いて創り出していくこと」のYMCAの可能性に触れ、「私たちは微力ではあっても、決して無力ではありません。」と締めくくりました。

「過去=遠い現実」に想える「3.11」は、「現在進行形」です。復興における地域間格差や復興住宅における被災者の「孤独死」、そしてフクシマの現実も深刻です。

私は、東日本大震災の支援スタッフの心のケアのための「支援者の心のリフレッシュプログラム」(日本YMCA 同盟と日本NPO センターとの共催: 2泊3日/YMCA 東山荘、年3回)に関わり続けています。「支援者へのケア」の取組みは、24年前の「1.17」の時からライフワークでもあります。支援スタッフの中には被災者として喪失・死別体験やトラウマを抱え、活動を続ける中で、心身ともに疲弊し、支援の意味が揺らぎ、「孤立・孤独」の暗闇の中で歩み続けておられる方がおられます。被災者だけでなく支援者のためにも、痛みを我がこととし、共に生きるために祈り支えていきたいと思えます。

(大江さん、お忙しい中を貴重な原稿、有り難うございました。)

## レザン通信

施設長 尾原 萌子

レザンでは、年明けに書き初めをしました。今年の目標を考え、4~6文字程度で書く内容を決めていきました。【金持ちになりたい】や【遅刻しない】など素直な言葉が並びます。それをカフェの店内に飾っています。すると、お客様から『あの言葉はいいね!』や『発想が面白いね~』と様々な声を掛けていただきました。このように利用者の様子や思いなどをお客様に知っていただくことはとても大事だと考えています。レザンの利用者は発達障がいのある方がほとんどです。発達障がいの方は、理解してもらえないと誤解ばかり生まれてしまい、たくさん怒られたり、嫌な目で見られてしまうことがあります。しかし、彼らとまっすぐに向き合い、さまざまな角度から彼らのことを知っていくとイメージは変わるはず。とても秀で

ているものがあったり、面白かったり…どんどん関わりたくなっていきます。是非、レザンに遊びに来て、たくさんの方と触れ合ってみてください!



### ☆幼児サッカーを支援して☆ 吉原 和子

2月17日(日)、初めての幼児(小学校入学前)のチャリティサッカー大会が行われた。鎌倉クラブとコラボで両クラブが関係する湘南とつか・鎌倉・東とつかのYMCAからの子どもたち12名の参加です。当日、風邪などでキャンセルが数名出たようですが、結果的には丁度良い人数でした。

経験のある子と初めての子との差はありましたが、リーダーたちが上手にサポート、さすがYMCAのリーダーです。

3名のグループに分け、休憩を挟み、交替しながら試合が進みます。試合といっても優劣は付けず、全員優勝、参加賞に表彰状とメダルとお菓子の詰め合わせです。

気になる子もいました。リーダーの足や体にしがみついで一人でボールも追わない、動かない、抱っこでリーダーがボールをその子に蹴らせていました。泣くわけでもなくニコニコ楽しそうなのです。「少しばかり障がいのある子なのかな~」と思っていました。でも最後には独りで動き出したのです。チョット感動的!

親御さんは、このサッカーに参加させて良かったと思っていますことでしょう。手厚いリーダーたちのサポートで第1回は大成功でした。



### ☆横浜YMCA 会員大会開かれる☆ 若木 一美

2月11日(月)に開かれた恒例の会員大会では、つづきクラブの横田さんと「維持会員募集コーナー」を担当しました。

参加される方はすでに会員か職員の方など顔見知りの方がほとんどでした。その中で、一人の女性が申込みを希望され、本部職員の方とともに申込書にご記入いただき、会費を受領しました。お聞きすると、常議員で横浜クラブの会員さんに勧められたとのことでした。このあと続いて、顔見知りの方が今年度分の会費を納入されました。

10時になり、本部職員の小林さんにコーナーはお任せしてメインイベントを開催しているホール会場へ移りました。

担当の人数や金銭の管理には、まだ課題は残ると思いますが、各種のイベント会場や総会等、多くの人たちが集まる処などには、「会員募集」ののぼり旗などを立てて勧誘したり、友人・知人にお声掛けに必要なパンフレットなどの準備を日常的に行うこともより効果的なのでは…? と思いました。



☆YMCA だより☆

瀬戸 俊孝

～ピンクシャツデー (2月27日)～

毎年2月27日は、『ピンクシャツデー』として、いじめのない世界を目指して様々な取り組みをしています。湘南とつかYMCAでもキッズプログラムだけでなく、成人や近隣へ対外指導に行った時にも説明をして多くの方々に理解してもらうよう努めています。2月の最終週はすべてのクラスで、何か一つピンクのものを身に着けて行動するよう心掛け・実施しました。こういう活動をブログや SNS を通して報告することで社会に対してYMCAをアピールする場になればよいと思います。

私たちYMCAは、社会教育団体として、スポーツや様々な活動を通して「人」を育てています。このような活動は、改めて大切なことだと思いますし、YMCA運動の一端だと思います。

そして、社会貢献としてシンボリックな活動の復興支援活動、3月は「東日本復興支援チャリティイベント」があります。チャリティコンサートも順調に予約が集まってきました。当日は、仙台からの「すずめ踊り」や街頭募金も実施予定です。多くの方に関わってもらい・知ってもらうことが大切です。

ワイズの皆さんも周りの方にお声掛けをよろしく…。



いじめのない  
世界をめざそう  
2019

☆今月の歳時記から☆

‘草餅 くさもち’ と ‘春眠 しゅんみん’

‘草餅’、あぜ道などに生えているヨモギ(蓬)の新葉を摘んできて、それを茹で上げ、お餅の中に炊きこんだもの。真っ青な色と蓬の香りが魅力、ヒナのお節句に供えられる。農家では、今でもよく作られるが、以前は蓬の代わりに春の七草の一つゴギョウ(母子草)がよく用いられていました。

おらが世やそこの草も餅になる 一茶  
草餅の柔かければ母恋し 茅舎  
草餅を子と食ひ弱くなりしかな 波郷

次に‘春眠’、孟浩然の詩に「春眠暁を覚えず、処々に啼鳥を聞く、…」とあるように、春の宵、曙の眠りは、格別快いもの。夜に限らず、昼寝、宵寝なども春眠にといいよ。

春、熟睡できるのは体調が良い証拠、人間の体も春に浮かれて調子が良くなっていくのかもしれないね…。

春眠の夢でよかりし涙かな 占魚  
船の笛近し春眠繰り返し 鶴枝  
春眠をむさぼりて悔なかりけり 万太郎

(午)



☆3月・4月のこよみ☆

- > 3/2(土) 第1例会・湘南とつかYMCA1階ホール・18:30
- > 3/5(火) 次々期部長選考委員会・中央YMCA・18:00
- > 3/5(火) 第89回Y-Y's協議会・中央YMCA・19:00
- > 3/9-10 次期役員研修会・東京オリンピックセンター
- > 3/10(日) 大震災復興支援・湘南とつかYMCA街頭募金
- > 3/10(日) 大震災復興支援・〃チャリティコンサート
- > 3/11(月) 踊場地区センター感謝の集い: 現地・10:00
- > 3/17(日) 横浜つるみワイズメンズクラブ(仮)設立総会
- > 3/19(火) 第2例会・湘南とつかYMCA 205号室・18:30
- > 4/16(火) 第1例会(竹の子例会)・吉原会員宅・10:00
- > 4/23(火) 第2例会・湘南とつかYMCA 205号室・18:30

～3月会合のご案内～

- ① 第1例会  
3月2日(土)・18:30～・1階ホール  
卓話者:パン工房アンジュ 施設長 相馬良文さん
- ② 第2例会  
3月19日(火) 18:30～・205号室  
大事なご相談があります。ご出席の程を…。  
アンジュのパンとレザンのコーヒーをどうぞ…。  
～HAPPY BIRTHDAY～  
吉原 訓さん 3月27日

【掲示板】

会長

- ◎ つるみ設立総会; 3/17(日) 14:00～16:30  
ア 「(仮)横浜つるみワイズメンズクラブ」と加盟認証状の伝達までは「仮」が付きます。  
イ 場所: 横浜市鶴見中央ケアプラザ  
☎ 045・508・7800  
京急鶴見駅下車、線路沿い徒歩5分  
ウ 会費: 2,000円  
エ 湘南・沖縄部、挙げて取組み、誕生へ…。
- ◎ 東日本大震災復興支援チャリティコンサート(3/10)  
ア 3月10日(日)14:00・湘南とつか1階ホール  
イ チケット: 800円(クラブとして10枚購入済み)  
ウ 午前中: 街頭募金 (詳細はおって連絡)  
エ 出演者のお一人井上八世以さん (ヴァイオリン) は、湘南とつかYMCAの運営委員でもあります。
- ◎ 踊場地区センター感謝の集い (3/11・10:00)  
ア 同センターで開かれます。  
イ うちの集まりです。  
ウ 皆さんで今までの労をねぎらいましょう。  
エ 12:00までの予定です。軽食が準備されます。
- ◎ クラブ25周年記念礼拝を5月18日(土)に  
ア 本年は、クラブ創立25周年になります。  
イ 時を同じくして開所した湘南とつかYMCAと合同開催の予定、詳細追ってお知らせします。

(後記)

皆さん 花粉症、はしか…と続いています。

一層のご自愛のほどを…。

(TK)